

ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2024年3月

販促・魅力発信

- ALPS処理水に関する風評を抑制・払拭することに加え、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興や持続的な発展を後押しするため、経済産業省、復興庁、農林水産省にて、2022年12月20日に「**魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク**」を立ち上げ。（現時点で、**1,100者を超える企業、自治体**等が参加）
- **2024年1月22日から3月24日までを、「三陸・常磐ウィークス（第3弾）」**と称し、ネットワーク参加企業等における社食や弁当の購入等を通じ、**約147万食の「三陸・常磐もの」が提供**された。

※なお、第1弾（2023/2/23～3/24）においては約15万食、第2弾（同年7/15～9/30）においては約50万食の「三陸・常磐もの」を提供。

「三陸・常磐ウィークス（第3弾）」における取組

● ごひいき！三陸常磐キャンペーン（1/22）

- 福島県を中心に展開するスーパーマーケット「マルト」にて、ピッツァ職人の大坪善久氏とのコラボレーションによる「三陸・常磐もの」を使用したオリジナルピッツァを販売開始。
- 岩田経産副大臣もイベントへ参加し、商品の試食を行うなど、「三陸・常磐もの」の魅力を発信した。

● 発見！ふくしまお魚まつり

（2/22-25@代々木公園、3/20-24@大阪扇町公園）

- 海鮮丼やほっき飯、サンマのポーポー焼きなどの「三陸・常磐もの」を味わえる日本最大級の魚介フェスティバルを実施。
- 岩田経産副大臣にも参加いただくほか、「三陸・常磐もの」を販売するマルシェや、アンコウの吊るし切りショーなどのPRイベントも併せて実施。

- 本ネットワークの創設1周年を記念した新メニューを開発。宮城県産ホタテを活用した1周年記念弁当を2月より販売開始。
- 岸田総理をはじめ、政府全体として「三陸・常磐もの」を積極的に応援。齋藤経産大臣も1周年記念弁当を若手職員と食べて魅力をPR。
- また、ネットワーク参加企業等においても、お弁当を食べながらランチミーティングを行うなど、積極的に取り組んでいただいた。



▲出典

YouTube「首相官邸チャンネル」

- 三陸常磐エリアの豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくための施策として「**ごひいき！三陸常磐キャンペーン**」を**2022年10月1日より実施**。
- 2024年3月19日、**読売新聞朝刊に全面広告を掲載**。

掲載された広告

[illegible]

- 三陸産水産物の販路開拓及びその安全性や魅力に係る情報発信を図るため、**輸出事業を推進している事業者の商品を紹介・広報。**
- 「Japan Sanriku Seafood and Yamagata Wines Launch : 東北・三陸海産・山形県 山と海の贈り物」と称し、三陸の魚介類と山形ワインを紹介するイベントをクアラルンプールにて3月1日に開催。
- 具体的には、**青森県、宮城県、および福島県**内事業者（株式会社山神、株式会社鮮冷、株式会社阿部長商店、株式会社マルリフーズ）の**水産加工品**について、マレーシアの**バイヤー、メディア、一般消費者等に対してプロモーションを実施。**
- あわせて、プロモーションした商品の食味等について参加者からヒアリング。**ほとんどの参加者から「美味しい」という評価をいただいた。**
- **ヒアリング結果をもとにしながら、今後も販路拡大を図るとともに、情報発信も継続していきたい。**

Japan Sanriku Seafood and Yamagata Wines Launch の模様



- 2024年1月～2月に、気仙沼「海の市」と、ヨークベニマル4店舗(市名坂店、石巻蛇田店、富沢西店、上杉店)において、**宮城県産生食用メカジキのプロモーション**（普及啓発・販売促進）を実施。
- 気仙沼「海の市」では、**生メカジキの握り寿司を500食分**、ヨークベニマルにおいては、**生メカジキの刺身を4,000食分**、一般消費者へお振る舞いとして提供。
- 生食用メカジキの試食を通じて、**宮城県産メカジキの魅力発信を実施**した。

PRイベントの様子



ヨークベニマルでのお振る舞いの様子



気仙沼「海の市」でのお振る舞いの様子

- 漁業者・中小企業者等を対象として、風評に負けない、地域の漁業や産業の活性化に向けた取組に対する支援策を知っていたくために、**漁業者・中小企業者等を対象に水産庁・岩手復興局・東北/関東農政局・東北/関東経済産業局・東北/関東運輸局・中小機構・JETRO等との連携により、漁業者・中小企業者支援施策等合同説明会を実施。**

説明会の様子



宮古会場

**漁業者・中小企業者支援施策等
合同説明会 3/19 in 宮古**

令和6年3月19日(火) 9:00~11:30

【会場】宮古市市民交流センター<イーストピアみやこ>
多目的ホール
【定員】14名(先着順)

【対象】漁業者、中小企業者、個人事業主、関係団体関係者、関係機関等

【申込締切】令和6年3月15日(金)12:00迄

第一部	第二部
9:00~9:30 受付・開会挨拶 9:30~10:00 水産庁・岩手復興局・東北/関東農政局・東北/関東経済産業局・東北/関東運輸局・中小機構・JETRO等による説明	10:00~10:30 説明会 10:30~11:00 説明会 11:00~11:30 説明会



水戸会場（オンライン）

**令和5年度 漁業者・中小企業者
支援施策等合同説明会
in 水戸**

令和6年3月22日(金) 13:30~15:35

【参加方法】「オンライン版(Microsoft Teams)」

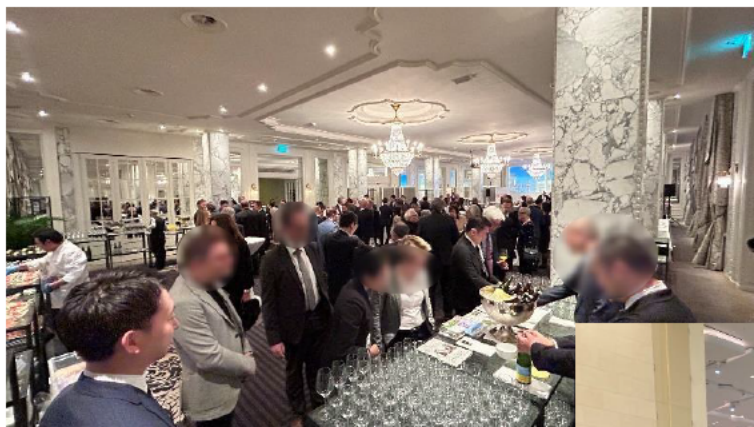
【対象】茨城県内の漁業者・中小企業者・個人事業主、
中小企業団体、自治体 等

日時： 令和6年3月19日(火)
9:00~11:30
場所： 宮古市市民交流センター
<イーストピアみやこ>
応募者数： 55名
(うちオンライン33名)

日時： 令和6年3月22日(金)
13:30~15:35
場所： オンライン
応募者数： 29名

- 2024年2月、各国の日本大使館及び総領事館が主催する**天皇誕生日レセプション等のイベントにおいてブースを設置し、福島県産の酒や日本産水産物を提供するなど、販路開拓や魅力発信のための取組を実施。**

レセプションの様子



スイス（ベルン）



インド（デリー）



タイ（バンコク）



米国（サンフランシスコ）

- 福島相双復興推進機構では、「6次産業化等へ向けた事業者間マッチング等支援事業」において、福島県産品の販路拡大に向けて、**企業間取引拡大に向けたマッチング支援や小売り・イベント等による販売促進支援を行っている。**
- 本事業における水産加工事業者と流通事業者のマッチング支援の結果、以下のような成果があった。

販路開拓支援成果（事例）①

- 仙台市のスパニッシュバー「リゴレット タパス ラウンジ」にて、佐藤水産の「ボイルやなぎだこ」、マルリフーズの「松川浦産あおさ海苔」が成約。
- これらは同店のグランドメニューの素材として活用され、現在提供中。



福島県・相馬産 柳ダコのグリル タパナードソース
(ボイルやなぎだこ 使用)

販路開拓支援成果（事例）②

- 大阪市内で8店舗を展開する「スーパーナショナル」にて、佐藤水産の「ボイルやなぎだこ」、マルリフーズの「松川浦産あおさ海苔」が成約。
- 本件は昨年12月に同社店舗で開催されたイベント「常磐大漁市」がきっかけとなり、定常商品として成約した。4月より販売開始予定。



ボイルやなぎだことおおさ海苔の
店頭陳列
(昨年12月の常磐大漁市)



スーパーナショナル（八幡屋店）

- 2月27日～3月3日の6日間、JR上野駅の中央改札口前で開催された「南東北産直市」に、福島相双復興推進機構の主催で、福島県の水産加工品の販売会である「常磐大漁市」を出店。
- 本イベントでは、福島県漁連をはじめとした福島県の水産加工業者等**9者の38商品を販売**。開催初日の27日には**おのづか食品（いわき市）の小野塚社長が来場し、同社の「うに味噌」の対面販売**を実施。
- また、2月28日と3月2日には、常磐線特急ひたちによる「はこビュン」（列車による荷物輸送サービス）を活用し、**マルリフーズ（相馬市）の新鮮な松川浦産生あおさ海苔の販売**を実施。両日とも完売した。

常磐大漁市 南東北産直市in上野駅



会場の様子



対面販売を行うおのづか食品・小野塚社長（中央）



「はこビュン」で到着した生あおさ海苔

来場者の声

「めひかりが好きなのでここで買えて嬉しい」「生あおさ海苔は香りが良い、洗浄不要なのは使いやすい」など、応援する声が多く寄せられた。

- 2月18日～3月8日、台湾において複数の外食チェーンと連携した店舗キャンペーンを実施。
- レストランチェーンごとに調理方法を変え、寿司、カレーライス、火鍋、焼肉といった**様々な料理と日本産ホタテとの相性の良さを紹介、喫食意欲向上と需要喚起を図る。**
- **現地メディアで75件報道される**など話題化や情報拡散につなげている。

台湾における日本産ホタテ試食キャンペーン

<キャンペーン概要・スケジュール>

店舗名	提供料理	参加店舗数	期間
スシロー台湾 	回転寿司	39店舗	2月26日（月）～ 3月8日（金）
CoCo壱番屋台湾 	カレーライス	29店舗	2月19日（月）～ 3月3日（日）
千葉連鎖餐飲集團 	火鍋	22店舗	2月18日（日）～ 3月2日（土）
馬辣國際餐飲集團 	火鍋、焼肉	火鍋：19店舗 焼肉：7店舗	2月19日（月）～ 3月3日（日）

- 2024年2月19～22日、ドバイで開催された**中東地域最大級の総合食品見本市「Gulfood 2024」にジャパンパビリオンを設置。岩手県、宮城県、茨城県の3社を含む26社・団体が出展し、来場バイヤーとの商談を支援した。**
- 合わせて日本産水産物のプロモーションイベントを実施。日本産水産物の特長や調理方法をアピールするべく、現地トップシェフ監修で特別メニューを開発し来場者に提供した。

「Gulfood 2024」出展および水産物プロモーション概要

<見本市概要>

- ・ 会期：2024年2月19～22日
- ・ 会場：アラブ首長国連邦（UAE）ドバイ（Dubai World Trade Centre）
- ・ 主催者：Dubai World Trade Centre L.L.C.
- ・ 規模（出展者数）：190カ国から5,500社以上

<ジャパンパビリオン概要>

- ・ 出品者数：26社・団体
- ・ 出品物：水産品・水産加工品、調味料、茶、加工食品
- ・ 岩手県、宮城県、茨城県からの主な出品物：水産物、調味料、等

<日本産水産物プロモーションイベント実施概要>

- ・ Gulfoodの場内特設会場において、日本産水産物のプロモーションを実施。
- ・ ドバイのトップシェフであるパウエル・カザノフスキ氏（“Zuma”の元ヘッドシェフ）を起用し、来場バイヤーやシェフ向けに、ホタテの魅力や調理方法の披露と共に試食提供を行った（ホタテの刺身・カルパッチョ・巻き寿司・しめじとのソテー、マグロのタタキ等、500食分を提供）。

<来場者の主な声>

- ・ 日本産水産物の良さは養殖や漁、流通や調理に至るまで隅々まで気配りされた質。もっとドバイでも広まってほしい（フードライター）
- ・ ホタテは今まで食べたことがなかったがとても美味しい（レストラン運営）。



ジャパンパビリオンの様子



調理デモを行うシェフのパウエル氏



試食提供したメニュー例（ホタテとイクラ）

- 2024年2月24日～3月3日、パリで開催されたフランス農業祭（SIA）に日本ブースを設置。青森県、茨城県、千葉県の3社を含む25社・団体が出展し、日本産水産物・食品のプロモーションを実施した。
- 出品商品の試食提供に加え、水産物の生育・出荷の特徴や食べ方についてのプレゼンを行い、日本食の旨味や健康との関係を学べるセミナーの開催。寿司やおむすびづくりを体験できるワークショップ等により、日本産水産物等食品をPR。

フランス農業祭 SIA2024（パリ）における日本産水産物等PRイベント

<見本市概要>

- ・ 会期：2024年2月24日～3月3日
- ・ 会場：フランス・パリ市 ポルト・ド・ヴェルサイユ見本市（Paris Expo Porte de Versailles）
- ・ 規模（出展者数）：1,100社以上

<日本ブース概要>

- ・ 出品者数：25社・団体（水産企業、都道府県をはじめ、食品企業等）
- ・ 出品物：水産品・水産加工品、和牛肉、米、茶、菓子、加工食品等
- ・ 青森県、茨城県、千葉県からの主な出品物：水産品、加工食品等

<イベント実施概要>

- ・ フランス農業祭は欧州最大の農水産業イベントで、出展社数は1,100社、来場者数は9日間で60万人以上（昨年実績）。
- ・ イベントコーナーでは、日本のホタテやブリなどの生育・出荷の特徴や日本食の旨味や健康との関係を学べるセミナーの開催。寿司、おむすびや和菓子づくり等を体験できるワークショップを実施。商品のサンプルを来場者に試食・試飲で提供し、アンケートや対話より反応を調査。

<来場者（消費者）の主な声>

- ・ ホタテは、焼いたものも刺身も美味しくて、いくらでも食べられる。
- ・ 子供達もホタテは大好き。調理も難しくなさそう。もっとフランスで購入しやすくしてほしい。
- ・ （愛媛県のみかん鯛について）みかんの香りが心地いい。



石巻の大漁旗で囲んだ日本ブース



イベントコーナーでのセミナー（冷凍寿司）



青森県水産企業が提供した卵付きホタテ

- 中小機構では、「中小企業総合展 in FOODEX2024」を開催し、食品・飲料分野の中小企業が開発した逸品を厳選して展示。
- **出展された水産加工業者（青森県1社、宮城県1社、福島県1社）に対し、商談の事前準備に関するVMD等のセミナー実施、専門家による販売戦略などのアドバイス、国内外バイヤーとの商談のセッティング、商談時の多言語通訳配置サポートを実施。**
- 今年度出展された水産加工業者（福島県1社）を取材し、今年の中小企業総合展 in FOODEXのHPに掲載。引き続き、今年度も出展者へのフォローアップ支援を行う。

中小企業総合展 in FOODEX2024

- ・名 称 中小企業総合展 in FOODEX 2024
- ・出展対象 食品・飲料等の商品を企画開発・製造されている中小企業者
- ・出展者数 74社【出展者一覧】
- ・会 期 2024年3月5日（火）～ 8日（金）
- ・会 場 東京ビッグサイト（FOODEX JAPAN 2024内）



冷凍ベビーホタテ



気仙沼・海鮮ふかひれラーメン



松川浦かけるあおさ



HPの掲載記事

- 中小機構の中小企業大学校の全国6か所の食堂にて、**三陸・常磐もの食材を使った特別企画メニュー**を約160食を提供した。

中小企業大学校食堂にて消費拡大の取組

◆企画概要

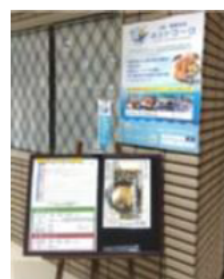
・開催日時：2024年2月20日（水）～3月22日（金）

中小機構は、東日本大震災からの復興を祈念して、三陸イベントを実施した。中小企業大学校（仙台校・三条校・東京校・瀬戸校・広島校・人吉校）の食堂にて、三陸・常磐ものネットワーク参画メンバーである「株式会社ニッコトラスト」様と協力し「秋刀魚の竜田揚げ甘酢あん」・「マグロのマスタードカツ」・「鰯竜田と牛タン皮そぼろ丼笹かまのせ」の三陸復興メニューを提供した。

株式会社ニッコトラスト <https://www.nikkokustrust.com/corporate/outline.html>



▲2月20日仙台校の秋刀魚の竜田揚げ甘酢あん



▲3月5日広島校



▲3月5日広島校



▲3月13日人吉校
鰯竜田と牛タン皮そぼろ丼笹かまのせ



▲3月22日東京校
鰯竜田と牛タン皮そぼろ丼笹かまのせ



▲2月21日仙台校 マグロのマスタードカツ



▲3月13日瀬戸校



▲3月7日三条校



▲3月13日人吉校食堂



▲3月22日東京校
自治体パンフレットの設置

- 中小機構が主催する展示会（経営支援部）にて、**三陸・常磐ものブース**を設置し、**本ネットワークのPRを実施した。**
- 中小機構の懇親会にて、**三陸・常磐ものネットワーク弁当**を購入し、「**三陸・常磐もの**」の消費拡大を実施した。

1/25～1/26 中小機構主催展示会にて本ネットワークのPRを実施

◆企画概要

- ・開催日時：2024年1月25日（木）10:00～18:00
1月26日（金）10:00～17:00
- ・中小機構は、全国のバイヤー向けに、地域のこだわり商品を提示した【展示会】ヒットを狙えにて、三陸常磐もの応援ブースとして、三陸・常磐ものネットワークについての“のぼり旗”や“腰巻”を展示し、全国のバイヤーに、ネットワークを紹介した。併せて、本ネットワークの取組を発信、拡大し、来場者の皆様に周知いただくよう、チラシを配布した。



▲【ヒットを狙え】三陸常磐もの応援ブースの風景

3/11 消費拡大

◆企画概要

- ・開催日時：2023年3月11日（月）懇親会
- ・中小機構では、懇親会にて、三陸常磐ものネットワークお弁当を購入し消費拡大を実施した。



▲購入したお弁当



▲3月11日懇親会の風景

- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ふくしま」の取り組みの一環として、**メキシコモンテレイにあるCINTERMEX MONTERREY（シンテルメックス）にて開催される大型日本博「EXPO JAPÓN 2024」に「発見！ふくしま」ブースを出展**する。
- 沖縄県那覇市で開催される**第16回沖縄国際映画祭と連動したイベントに「発見！ふくしま」ブースを出店**する。
- 横浜赤レンガ倉庫（神奈川県横浜市）で開催される**「パエリア・タパス祭り 2024」に「常磐もの」を使ったパエリアやアヒージョなどを提供するブースを出店**する。

エキスポ・ジャパン モンテレイ2024

- 日程：4月6日（土）、7日（日）
- 場所：メキシコ モンテレイ（シンテルメックス）



▲出展ブース（イメージ）



▲シンテルメックス（イメージ）

島ぜんぶでおーきな祭 沖縄国際映画祭

- 日程：4月20日（土）、21日（日）
10：00～19：00
- 場所：沖縄県那覇市
デパートリウボウ・パレット広場



▲提供メニュー（イメージ）



▲デパートリウボウ・パレット広場

パエリア・タパス祭り 2024 in 横浜赤レンガ倉庫

- 日程：4月12日（金）～14日（日）
11：00～20：00
- 場所：神奈川県横浜市横浜赤レンガ倉庫



▲日比谷公園での様子（2023年4月）



▲横浜赤レンガ倉庫（イメージ）

- 3月1日～14日の2週間、米国西海岸ロサンゼルスと東海岸ニュージャージーなどにある**日系大型スーパー「ミツワマーケットプレイス」11店舗にて、福島県産米「天のつぶ」販売フェアを開催し、精米約7.5t、パック米3,600個を販売した。**
- 3月9日、10日の2日間、JR博多駅前広場にて、**キッチンカーを出店し、常磐もの「メヒカリの唐揚げ」などの提供や福島県産品マルシェを開催した。キッチンカーは約1,000食、マルシェは約2,100点を販売した。**

米国・ミツワマーケットプレイス「天のつぶ」フェア

- 日程：3月1日（金）～14日（木）
- 場所：米国日系大型スーパー「ミツワマーケットプレイス」



▲会場の様子

ふくふくフェア in 福岡

- 日程：3月9日（土）、10日（日）
- 場所：JR博多駅前広場



▲会場の様子

- 3月16日、17日の2日間、東京都渋谷キャストで福島民報社、株式会社無洲、四ツ谷はらくっちと東京電力で共催したイベント「渋谷で福島！」にキッチンカー3台と福島の地ビールなどのブースを出店し、約1,400食販売した。
- 3月20日～24日の5日間、大阪市扇町公園で開催された「SAKANA&JAPAN FESTIVAL2024」に「発見！ふくしま」として8ブース出店した。約54,500人が来場し、「常磐もの」の海鮮丼やほっき飯などを提供した。

「渋谷で福島！」in 渋谷キャスト

- 日程：3月16日（土）、17日（日）
- 場所：東京都渋谷キャスト



▲会場の様子

SAKANA JAPANFESTIVAL 2024 in 大阪・扇町公園

- 日程：3月20日（水・祝）～24日（日）
- 場所：大阪府大阪市扇町公園



▲会場の様子

理解釀成

- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページにバナー広告を掲載。**

ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと

- ALPS処理水って何？
本当に安全なの？
- トリチウムって何？
- なぜALPS処理水を
処分しなければ
ならないの？
- 本当に海洋放出しても
大丈夫なの？
- 近海でとれた
魚は大丈夫なの？

ALPS処理水に係る
モニタリング

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

Twitter Facebook Line Email

日本語 | English

安全対策・
風評対策の取組 > 関連コンテンツ >

ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全性の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

ALPS処理水の分析結果

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値1未満

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、
いずれも基準を満たしていることを確認しました

※12月22日に採取を行ったALPS処理水（M4-Bタンク）
※基準：トリチウム以外の告示濃度比値1未満

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

現在の状態 ※

異常なし

※最新の各種関での分析結果をもとにしています

凡例

異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示

「放出停止判断レベル」を超えたときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で300Bq/L」と定めています。これらを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

Yahoo!JAPAN バナー広告



ページはこちら



- 「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。
(動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。)

1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
ALPS 処理水って何？
本当に安全なの？




- ① ALPS処理水って何？
本当に安全なの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
トリチウムって何？




- ② トリチウムって何？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
なぜALPS 処理水を
処分しなければならないの？




- ③ なぜALPS処理水を
処分しなければならないの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
本当に海洋放出をしても
大丈夫なの？




- ④ 本当に海洋放出をしても
大丈夫なの？

みんなで
知ろう。
考えよう。
ALPS処理水のこと



動画で解説
近海でとれた魚は
大丈夫なの？




- ⑤ 近海でとれた魚は
大丈夫なの？

- 福島民報と福島民友において、福島県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える全面カラー広告を掲載。
(ALPS処理水に係るモニタリング結果については、モノクロの広告を追加で2回掲載。)

新聞への広告掲載内容（福島民報・福島民友）

左：全面カラー広告（3月3日掲載）、右：モノクロ広告（3月5日、3月22日掲載）

プロに聞く！
Ask a professional!

“常磐もの”の魅力と美味しさ

福島県産の水産物は、福島県の水産物の魅力と美味しさを伝えるための広告です。福島県の水産物は、福島県の水産物の魅力と美味しさを伝えるための広告です。

Professional 1 いわき市漁業協同組合

Professional 2 食品スーパー マルト

Professional 3 株式会社 亀谷

Professional 4 福島県土産物産 四ッ谷 haraku-chi

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

広告

みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

最新の状態

基準を満たす

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。

東京2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第5回分析）結果：トリウム以外の放射性物質濃度は基準値以下

モニタリング結果

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。

モニタリング結果の分析結果を掲載しています

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで知ろう ALPS 処理水

全体版はこちら

- 岩手日報において、岩手県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える**全面カラー広告**を掲載。
(ALPS処理水に係るモニタリング結果については、**モノクロの広告**を追加で**2回**掲載。)

新聞への広告掲載内容（岩手日報）

左：全面カラー広告（3月2日掲載）、右：モノクロ広告（3月4日、3月20日掲載）

「味力」あふれる岩手のホタテ

世界三大漁場の一つに数えられる豊かな岩手県は、沿岸部で養殖も盛んだ。ホタテの養殖施設は東日本大震災で大きな被害を受け、漁獲量は減少したが、一点一点復活を遂げた。ホタテは本県産物の主力の一つ。地元でも、遠く離れた首都圏でも、おいしく消費されている。

食べ方多彩 世界に通ず

ホタテは、刺身、焼き、煮、揚げなど、さまざまな食べ方が楽しめる。また、ホタテの殻は、お風呂の湯に投入すると、ホタテのミネラルが湯に溶け出し、お風呂の湯がホタテのミネラルで満たされる。ホタテの殻は、お風呂の湯に投入すると、ホタテのミネラルが湯に溶け出し、お風呂の湯がホタテのミネラルで満たされる。

荒海が育む 極上ホタテ

岩手県は、日本列島の最北端に位置し、厳しい寒さや荒れた海が、ホタテの成長を促している。そのため、岩手県産のホタテは、味が濃厚で、食感が良いと評判だ。

豊洲の仲卸が 三陸・常磐もの 味の宝庫

東京都豊洲の仲卸は、岩手県産の水産物を多く取り扱っている。岩手県産の水産物は、味が良いだけでなく、新鮮で、安心して食べられる。岩手県産の水産物は、味が良いだけでなく、新鮮で、安心して食べられる。

東京で 岩手県産の産直食材を 堪能できる店

東京都豊洲の仲卸は、岩手県産の水産物を多く取り扱っている。岩手県産の水産物は、味が良いだけでなく、新鮮で、安心して食べられる。岩手県産の水産物は、味が良いだけでなく、新鮮で、安心して食べられる。

みんなで 知ろう。 考えよう。 ALPS 処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

最新の状態

基準を満たす

モニタリング結果

異常なし

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。
※2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第6回分析）※基準：トリウム以外の放射性物質濃度1未満

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。
※結果の各機関での分析結果を基にしています

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで知ろう ALPS 処理水

みんなで 知ろう。 考えよう。 ALPS 処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

最新の状態

基準を満たす

モニタリング結果

異常なし

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。
※2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第6回分析）※基準：トリウム以外の放射性物質濃度1未満

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）

東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果について、異常はありません。
※結果の各機関での分析結果を基にしています

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで知ろう ALPS 処理水

全体版はこちら

- 河北新報において、宮城県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える全面カラー広告を掲載。
(ALPS処理水に係るモニタリング結果については、モノクロの広告を追加で2回掲載。)

新聞への広告掲載内容（河北新報）

左：全面カラー広告（3月4日掲載）、右：モノクロ広告（3月3日、3月22日掲載）

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。

※2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第6回データ）※基準：トリウム以外の物質濃度比較値1未満

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）

東京電力福島第一原子力発電所近海海域のモニタリング結果について、異常はありません。

※最新の各機関での分析結果を貼っています

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで知ろう ALPS 処理水

ALPS処理水の分析結果

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。

※2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第6回データ）※基準：トリウム以外の物質濃度比較値1未満

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）

東京電力福島第一原子力発電所近海海域のモニタリング結果について、異常はありません。

※最新の各機関での分析結果を貼っています

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら

みんなで知ろう ALPS 処理水

全体版はこちら



- 茨城新聞において、茨城県の水産物の魅力とALPS処理水に係るモニタリング結果を伝える**全面カラー広告**を掲載。
(ALPS処理水に係るモニタリング結果については、**モノクロ**の広告を追加で**2回**掲載。)

新聞への広告掲載内容（茨城新聞）

左：全面カラー広告（3月5日掲載）、右：モノクロ広告（3月2日、3月21日掲載）

プロもうなる 「三陸・常磐もの」の魅力

豊かな漁場、多彩な魚種

三陸沖の豊かな漁場から、多種多様な魚種が獲れます。新鮮な魚を、地元で食べたり、全国に届けてもらったり。三陸の魅力を、魚を通して知ってもらいたい。

地元の魚もっと食べて
茨城県漁業振興課 関田 正美さん

安コウの魅力広める
茨城県漁業「常磐物」 関田 正美さん

三陸沖の豊かな漁場から、多種多様な魚種が獲れます。新鮮な魚を、地元で食べたり、全国に届けてもらったり。三陸の魅力を、魚を通して知ってもらいたい。

みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

ALPS処理水の分析結果
東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。
※2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第5回分析）※基準：トリウム以外の放射性物質濃度1未満

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）
東京電力福島第一原子力発電所近海海域のモニタリング結果について、異常はありません。
※最新のモニタリング結果は、こちらをご覧ください

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら
みんなで知ろう ALPS処理水

みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと

ALPS処理水は、放出前に分析を行い、放射性物質が基準を満たしていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出されています。これまでのところ、放出前・放出後のモニタリングの結果、いずれも問題のある数値は見られず、安全性が確認されています。

ALPS処理水の分析結果
東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました。
※2023年12月22日に実施を行ったALPS処理水（第5回分析）※基準：トリウム以外の放射性物質濃度1未満

海域モニタリング結果（海水・魚に含まれるトリウム）
東京電力福島第一原子力発電所近海海域のモニタリング結果について、異常はありません。
※最新のモニタリング結果は、こちらをご覧ください

一目でわかるマーク形式でモニタリングの結果を表示しているページはこちら

その他、ALPS処理水に関する情報はこちら
みんなで知ろう ALPS処理水

全体版はこちら

- 2024年3月7日、**海外メディア向け説明会「東京電力福島第一原子力発電所廃炉の進捗状況及びALPS処理水の海洋放出の状況について」をテレビ会議形式で実施**、12の国・地域から21名が参加。
- 経済産業省及び東京電力ホールディングスより、**東日本大震災による事故から13年を迎える同発電所の廃炉の進捗状況やALPS処理水の海洋放出の状況について、海外メディア向けに説明**を行った。

参加国及び地域

ブラジル、中国、フランス、ベルギー、スイス、ドイツ、香港、韓国、ロシア、シンガポール、韓国、米国

- IAEA（国際原子力機関）のグロッシー事務局長は、2024年3月12～14日に訪日し、3月12日に林官房長官と齋藤経産大臣、3月14日には岸田総理と上川外務大臣と、それぞれ会談を行った。

＜齋藤経産大臣との会談＞

- 齋藤大臣から、昨年8月のALPS処理水海洋放出開始以降も、**IAEAが福島第一原発に職員を駐在させていること、独立した立場からのモニタリング、安全性レビューの継続的な実施に謝意**を表明し、引き続き、ALPS処理水の安全性の確保に万全を期していく旨を述べた。また、両者は**科学的根拠に基づく情報発信の重要性**及びIAEAによる長期にわたる**継続的なレビューの実施について一致した**。



▲ 齋藤経産大臣とグロッシー事務局長の会談

＜岸田総理大臣との会談＞

- 岸田総理から、グロッシー事務局長の力強いコミットメントに謝意を述べた上で、日本は引き続き**IAEAと連携し**、科学的根拠に基づき、高い透明性をもって、**日本の取組に対する国際社会の理解・支持を広げていく**旨述べた。
- グロッシー事務局長から、福島訪問時に、ALPS処理水の海洋放出が国際基準に完全に則り、計画どおり安全に実施されていることを確認した、引き続き、IAEAの関与を継続していく旨述べた。



▲ 岸田総理とグロッシー事務局長の会談

- IAEA（国際原子力機関）の**グロッシー事務局長は**、訪日期间中、**3月13日に福島を訪問**。地元の方々との意見交換、地元の高校生を招いた講演会（NPO法人ハッピーロードネット主催）に出席したほか、東京電力福島第一原子力発電所を視察した。
- 地元の方々との意見交換の場においては、**グロッシー事務局長から改めてALPS処理水の海洋放出に係るIAEAの取組を紹介され、地元自治体や地元漁連・商工会関係者等の方々との意見交換を行った。**
- 高校生を招いた講演会においては、**グロッシー事務局長からALPS処理水の海洋放出の安全性と国際社会への理解、同発電所の廃炉に向けた取組、それらに対するIAEAの取組などに関して説明し、意見交換を行った。**
- グロッシー事務局長は、同日午後に東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、**ALPS処理水の海洋放出開始後の現場確認のため、ALPS処理水の希釈・放出設備など視察した。**



▲福島の地元の方々との意見交換



▲福島第一原子力発電所を視察するグロッシー事務局長
(東京電力HD提供)

- 2024年3月13日、岸田総理は訪日中のヒルダ・C・ハイネ展マーシャル諸島共和国大統領と会談を実施。
- ALPS処理水について、岸田総理から日本として引き続き、IAEAの関与を得つつ、科学に基づくアプローチをとり、透明性をもって情報共有を行うことを説明した。



▲日・マーシャル諸島首脳会談

安全確保

東京電力

○海水中トリチウムを測定

- 放水口周辺4地点毎日、その他6地点で週2回（放出期間中）、放水口周辺4地点週1回、その他6地点で月1回（放出停止期間中）迅速分析を実施。

水産庁

○水産物は年約380検体でトリチウムを測定

- ①放水口の北北東へ約4km、②放水口の南南東へ約5kmの**2地点で、週4回迅速分析を実施**（放出のない期間は週1回）

環境省

○海水中トリチウムを測定

- 放出期間中、放水口近傍3地点で期間中2回、その他沿岸20地点で期間中1回、迅速分析を実施。

（参考）原子力規制庁

○海水中トリチウムを精密分析にて測定。

- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。



計画どおりに安全に放出できていることを確認

- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、河北新報、岩手日報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年3月も1～2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

新聞への広告掲載内容（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：視察・座談会のご案内（福島民報・福島民友））

福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ(2024年3月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視（モニタリング）を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標（放出停止判断レベル：700ベクレル/l）を大きく下回る結果となっています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。

3km圏内（海内を狭く）

20km圏内

エリア	海水の測定結果【単位：ベクレル/l】 （2月1日～2月28日までに行われた測定結果の最大値）
トリチウム 【測定箇所】	
3km圏内	検出せず（＜7.9）
20km圏内	検出せず（＜8.1）
セシウム134 ^{※1}	
3km圏内	検出せず（＜0.91）
20km圏内	検出せず（＜0.0014）
セシウム137 ^{※2}	
3km圏内	検出せず（＜0.95）
20km圏内	0.067

【参考】トリチウム濃度の比較

【注】 ① 3km圏内の測定結果はトリチウム濃度のみを示す。② 20km圏内の測定結果はトリチウム濃度のみを示す。③ 20km圏内の測定結果はトリチウム濃度のみを示す。④ 20km圏内の測定結果はトリチウム濃度のみを示す。

福島第一原子力発電所「視察・座談会」のご案内

廃炉作業はどのくらい進んでいるの？ ALPS処理水は安全なの？
そんな疑問をお持ちのみなさまに向けて、福島第一原子力発電所構内をご自分の目でご覧いただき、廃炉やALPS処理水に関する疑問や意見をお聞かせください。

※お申込条件：現在、福島県内にお住まいの方、または、2011年3月11日時点で県内にお住まいだった方、/18歳以上の方、/詳細はお問い合わせください。

●視察・座談会の流れ

12:00 廃炉資料館へ集合
13:40 福島第一原子力発電所視察
15:20 座談会
16:00 解散（廃炉資料館）

・昼食はご用意いたしません。
・本館では放射線被ばくを伴いますが、被ばく量は0.01～0.02ミリシーベルト（レントゲン1～2回分）を想定しています。

●開催日程（2024年度） 各回定員：40名（先着順）

① 2024年4月13日（土）	⑦ 2024年10月 5日（土）
② 2024年5月11日（土）	⑧ 2024年11月 9日（土）
③ 2024年6月 8日（土）	⑨ 2024年12月14日（土）
④ 2024年7月 6日（土）	⑩ 2025年 1月18日（土）
⑤ 2024年8月10日（土）	⑪ 2025年 2月 8日（土）
⑥ 2024年9月 7日（土）	⑫ 2025年 3月 8日（土）

参加申し込み
お問い合わせ先

080-5555-7988 (TEL)

電話受付：平日9:00～17:00（土日祝日を除く）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所 視察・座談会グループ

詳しくはホームページをご覧ください
▶【視察・座談会】
<https://www.tepco.co.jp/tepcocommission/information/newsrelease/visit.html>

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所視察カンパニー
〒979-1301 福島県福島市大崎町大字大崎2-2

福島県内
にお住まいの
みなさまへ

福島第一原子力発電所「視察・座談会」のご案内

廃炉作業はどのくらい進んでいるの？ ALPS処理水は安全なの？
そんな疑問をお持ちのみなさまに向けて、福島第一原子力発電所構内をご自分の目でご覧いただき、廃炉やALPS処理水に関する疑問や意見をお聞かせください。

※お申込条件：現在、福島県内にお住まいの方、または、2011年3月11日時点で県内にお住まいだった方、/18歳以上の方、/詳細はお問い合わせください。

●視察・座談会の流れ

12:00 廃炉資料館へ集合
13:40 福島第一原子力発電所視察
15:20 座談会
16:00 解散（廃炉資料館）

・昼食はご用意いたしません。
・本館では放射線被ばくを伴いますが、被ばく量は0.01～0.02ミリシーベルト（レントゲン1～2回分）を想定しています。

●開催日程（2024年度） 各回定員：40名（先着順）

① 2024年4月13日（土）	⑦ 2024年10月 5日（土）
② 2024年5月11日（土）	⑧ 2024年11月 9日（土）
③ 2024年6月 8日（土）	⑨ 2024年12月14日（土）
④ 2024年7月 6日（土）	⑩ 2025年 1月18日（土）
⑤ 2024年8月10日（土）	⑪ 2025年 2月 8日（土）
⑥ 2024年9月 7日（土）	⑫ 2025年 3月 8日（土）

参加申し込み
お問い合わせ先

080-5555-7988 (TEL)

電話受付：平日9:00～17:00（土日祝日を除く）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所 視察・座談会グループ



詳しくはホームページをご覧ください
▶【視察・座談会】
<https://www.tepco.co.jp/tepcocommission/information/newsrelease/visit.html>

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所視察カンパニー
〒979-1301 福島県福島市大崎町大字大崎2-2